

言語能力を統合して解決する問題① 国語科

1 問題作成の意図

国語科の問題は、大問1、2から成り、全て説明的文章を題材としている。見取る言語能力として、①情報を読み取る力、②情報を比較し読み取る力、③読み取った情報を基に自分の考えを表現する力、の3種類を設定した。

1・2年生は、大問1で①の力を、大問2で②の力を見取れるようにした。大問1は○×問題であり、大問2は選択式問題である。3年生以上は、大問1の1・2問目で①の力を、3・4問目で②の力を、大問2で③の力を見取るようにした。大問1は○×問題であり、大問2は記述式問題である。

2 検査結果の分析

表1 各学年問題別解答集計（6月・2月） 単位：%

	大問1								大問2			
	1問目		2問目		3問目		4問目		○正答		△一部正答	
	6月	2月	6月	2月								
1年 紙紙	—	83.0	—	96.0	—	80.0	—	83.0	—	69.0	—	—
2年 紙紙	78.8	●97.9	92.3	100	69.2	○83.0	90.4	97.9	90.4	95.7	—	—
2年 ICT紙	72.0	●84.0	98.0	98.0	86.0	78.0	98.0	△84.0	88.0	94.0	—	—
3年 紙紙	51.0	○63.3	89.8	89.8	92.2	91.8	65.3	○83.7	34.7	●63.3	12.2	8.2
3年 ICT紙	42.2	●77.8	95.6	93.3	93.3	91.1	68.9	○82.2	55.6	55.6	11.1	13.3
4年 紙紙	66.7	●90.9	97.0	93.9	81.8	○93.9	60.6	○78.8	66.7	△54.5	15.2	0
4年 ICT紙	90.3	△74.2	87.1	93.5	71.0	○83.9	67.7	△52.9	64.5	64.7	16.1	0
4年 ICTICT	52.9	●79.4	91.2	82.4	73.5	○85.3	58.8	52.9	55.9	64.7	0	0
5年 紙紙	100	100	97.1	△84.4	97.1	96.9	100	100	62.9	62.5	17.1	3.1
5年 ICT紙	97.1	100	79.4	85.3	100	△85.3	100	100	67.6	58.8	2.9	14.7
5年 ICTICT	91.4	96.6	77.1	○89.7	94.3	96.6	97.1	100	45.7	41.4	11.4	0
6年 紙紙	91.2	100	73.5	70.6	79.4	76.5	79.4	76.5	50.0	58.8	38.2	23.5
6年 ICT紙	100	90.9	64.7	○75.8	82.4	87.9	88.2	81.8	50.0	●72.7	35.3	12.1
6年 ICTICT	97.1	93.8	52.9	56.3	61.8	○81.3	70.6	78.1	52.9	59.4	47.1	15.6

※ゴシック体は同項目最下位より10%以上高い値。6月より10%以上差異がある値は○か△、20%以上なら●か▲

(1) 提示／解答方法の「言語能力」への影響

ゴシック体部分に注目する。国語科の文章読解は、大事なところに鉛筆で線をひいたり、接続語を丸囲みしたりしながら解くことが多い。そのため、検査前は問題文に書き込みが可能な「紙＋紙」が高くなると予想していたが、実際は明確な有意差は見られなかった。ただし、「ICT＋ICT」に関してはキーボード入力で解答する必要があるためか、紙での解答に比べて正答率が低く出ている。

記号に注目する。本校では、特に3年生以上は年間を通してパソコンに接する機会が多かった。授業中に用いることも増え、この半年間でのICT技能は高まったと考える。そのため、検査前は2月時点でICTに関係する検査結果が大きく伸びると予想していた。実際、高学年にはその傾向が見られるが、断言できるだけの差異は見られなかった。

(2) アカデミック・ライティングで指導可能な言語能力の変化

①情報を読み取る力については、2～4年生で向上が見られた。この力は単純であるが故に、低学年ほど伸び幅があると考えられる。一方で、②情報を比較し読み取る力と③読み取った情報を基に自分の考えを表現する力に関しては、偏りが見られなかった。日頃の国語科授業の在り方によるところもあるのだろう。